

報告事項 1

令和 6 年度「地域公共交通確保維持改善事業」に関する事業評価（概要）

地域公共交通確保維持改善事業による支援を受けた事業について、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱、実施要領及び事業評価実施細目に基づき自己評価を行いましたので報告いたします。

1 令和 6 年度の評価対象事業

地域公共交通確保維持事業「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金」

対象事業期間：R5. 10. 1～R6. 9. 30

補助対象事業：コミュニティバス運行

「らん♡らんバス」全 11 ルートのうち下記 9 ルートを補助対象路線として運行しています。

【補助対象路線】

北回り循環ルート、河合統合ルートの一部、鴨池ルート、山田檜山ルートの一部、大開ルートの一部、万勝寺ルート、ひまわりタウンルートの一部、中谷ルート、匠台ルート

【主要経路】

電鉄小野駅、電鉄檜山駅、J R 市場駅、小野市役所前、イオン、北播磨総合医療センター 等

2 自己評価（R7. 1. 6 付け）について

① 令和 6 年度「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金」に係る目標達成状況

目標 1：運行本数の維持確保（補助対象ルート週 3 日、1 日 4 本以上）

→ 結果：**達成** 週 3 日、1 日 4 本以上の運行を実施した。

目標 2：年間利用者数 200,000 人

→ 結果：**未達成** 年間利用者 199,509 人（R5. 10～R6. 9）

【目標未達成の主な要因】

・新型コロナウイルス感染症による移動手段の転換など

3 二次評価（R7. 2. 28 付け）等について

○「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金」に対する二次評価

- ・適切に事業を実施し、目標・効果が達成されたことは評価できる。
- ・今後も利用状況の把握・地域実態の分析により、ニーズに対応した運行内容の見直しに取り組むことで異なる利用者の増加につなげ、持続可能な公共交通が構築されることを期待する。

4 今後について

ワーキンググループ会議などにおいて把握した市民ニーズに加え、地域の高齢化進行や、新産業団地の感性と進出企業の稼働状況、商業施設の進退状況を考慮した運行経路やダイヤの見直しを引き続き検討するほか、市民の新たな交通手段として浸透したデマンドタクシーの拡充をはじめとする制度見直しを積極的に実施し、市内公共交通の活性化に努める。

加えて、地域特性に応じた多様なニーズに対応できる公共交通ネットワークを構築することで、潜在的利用者の掘り起こしに努める。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年2月28日
近畿運輸局

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
小野市地域公共交通会議	神姫バス株式会社	補助対象事業： 小野市コミュニティバス運行事業 補助対象系統： 全11ルートのうち下記9ルート ①北回り循環ルート ②河合統合ルートの一部 ③鴨池ルート ④山田榎山ルートの一部 ⑤大開ルートの一部 ⑥万勝寺ルート ⑦ひまわりタウンルートの一部 ⑧中谷ルート ⑨匠台ルート 主要経路： 電鉄小野駅、電鉄榎山駅、JR市場駅、小野市役所、イオン、北播磨総合医療センター等 ※別途「車両減価償却費等国庫補助金」を受けている。		A	A	ワーキンググループ会議などにおいて把握した市民ニーズに加え、地域の高齢化進行や、新産業団地の完成と進出企業の稼働状況、商業施設の進退状況を考慮した運行経路やダイヤの見直しを引き続き検討するほか、市民の新たな交通手段として浸透したデマンドタクシーの拡充をはじめとする制度見直しを積極的に実施し、市内公共交通の活性化に努める。 加えて、地域特性に応じた多様なニーズに対応できる公共交通ネットワークを構築することで、潜在的利用者の掘り起こしに努める。	適切に事業を実施し、目標・効果が達成されたことは評価できる。 今後も、利用状況の把握・地域実態の分析により、ニーズに対応した運行内容の見直しに取り組むことで更なる利用者の増加につなげ、持続可能な公共交通が構築されることを期待する。	